

規則正しい生活で身に付く「力」!

中学時代、それは、人生で初めて自分の責任で自分の進路を選択する時期です。子どもたちは、自分なりに進路を考え、勉強を頑張らなければという思いとともに、心のどこかに絶えず不安を抱えています。

保護者にとっても、子どもに対する期待と不安が交錯する時期ではありますが、まずは、子どもの気持ちを受け止める姿勢を大切にしたいです。子どもの考えをしっかりと聞く機会をつくり、子どもの努力や過程を認めてあげること、厳しくも温かい励ましを積み重ねることこそが、子どもに意欲を持たせ、進路を切り開かせることにつながります。

そして、家庭学習は、自分の進路を自分の手でつかむためになくしてはならないものです。自分の将来に向かって毎日の地道な積み重ねとなる家庭学習の習慣を身につけることができる環境づくりとともに、子どもたちへの指導をよろしくお願いいたします。

進路確保

確かな学力

授業・家庭学習

正しい心・優しい心

基本的な生活習慣

家庭学習時間の目安(例)

校種	年齢	平日	休日	主な学習内容
幼稚園	3~5才	10分	10分	読み聞かせやふれあい遊びで学ぶ喜びを感じる。
小学校	1~2年	学年	60分	宿題、読書・音読、漢字・計算練習、日記
	3~4年	+	90分	宿題、予習復習、音読、漢字・計算練習、日記
	5~6年	10分	2時間以上	宿題、予習復習、音読、漢字・計算練習、日記、興味関心のある自主学習
中学校	1~2年	2時間以上	3時間以上	宿題、予習復習、自主学習の定着、定期テスト対策
	3年	3時間以上	4時間以上	宿題、予習復習、進路確保に向けた自主学習、定期テスト対策

学力アップは規則正しい生活から

- 早寝・早起きをして、朝ごはんを食べる。
- テレビ、ゲーム、スマホは時間を決める。
- 同じ場所、同じ時間で習慣化する。
- 自分で時間割や学習用具をそろえる。
- 家族の一員として、手伝いをする。



家庭学習のポイント

- (1) 決まった時間・場所で毎日する。
- (2) 自分で計画を立ててする。
- (3) 集中する。「ながら勉強」をしない。
- (4) 正しい姿勢で机に向かう。
- (5) わからないときは教科書等で調べる。

自分を大切に、社会や学校のルールを大切に、周囲の人を大切にする心が学力向上につながります。また、家庭で勉強に取り組む環境づくりだけでなく、正しく生きること、優しく生きingことを教指導していくことも、確かな学力の定着につながります。お子さんが前向きで、夢に向かって充実した生活が送れるよう、温かく見守ってください。

校長先生から

本校のように生徒数が少ない学校では、割合だけにとらわれない分析が必要です。本校では、個別支援をしやすい環境づくりのために、限られた教員数でクラスを2つに分けたり複数教員で対応できる体制づくりを取り入れたりしています。また、話し合い活動の充実に取り組んでおり、3年生の質問紙では、「生徒の間に話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」の問いに、「そう思う」と答えた生徒が33%、肯定的な回答は84%でした。県や全国平均に比べても高い数値ですが、入学当初は、非常に苦手としていました。これまで「なぜ」「どうして」という問いかけに対し、自分の考えを文字に起こすことや話し合い活動を積極的に授業に取り入れてきたことが、この結果に結びついたのだと思います。

また、全国的な課題のメディアの利用時間、授業外の学習時間にも改善が見られます。本校では、授業と家庭学習との繋がりを意識した課題(宿題)設定を意識しています。自主的に取り組むことで学習効果は飛躍的に伸びるからです。その時間を生み出すためには、計画を立てて学習することが大事です。メディアとの関わり方については、自らのルールを決める必要があります。「自立」した中学生を目指すために、自分にとって何がベストかを考えることを意識させながら、生活改善に取り組ませたいと思います。